※本文敬称略

近畿大学

時代の変化に対応し、多分野で活躍できる力を

近畿大学医学部は関西の私立総合大学で唯一の医学部。大阪狭山キャンパス（大阪狭山市大野東377ノ2）を訪れ、総合大学ならではの学びや今後の方針を同大学副学長・医学部長の松村到さんに聞きました。

近畿大学 副学長・医学部長
松村到さん

他学部との幅広い連携で視野を広げ協働を学ぶ
進化する情報科学技術をいかす能力

鳥井　教育方針についてお聞かせください。

松村　本学全体の教育理念とも共通する、「人に愛され、信頼され、尊敬される医師の育成」を医学部の使命に掲げています。それには科学者としての力量だけでなく、生活者としての患者さんを支える社会文化的な力も重要です。臨床のほかに、基礎医学研究や保健行政、起業など、卒業後の将来は多様ですが、どんな道でも活躍できる医師を育てたいと思います。

鳥井　多様な可能性を育むために注力されているのはどんな点ですか。

松村　医学教育モデル・コア・カリキュラムの2022年度改定を受け、本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーなども2024年度から新しくしました。従来の「コミュニケーション能力」「国際化への対応」「継続的に学ぶ姿勢」などに加え、重視したいのが「情報・科学をいかす能力」です。

今後は医療の世界でも、AIによる画像診断・病理診断の導入などが進むと予想され、変化に柔軟に対応しスキルを高めていくことが求められます。現在は、全学共通のデータサイエンスの授業を1年次で選択することができ、近い将来、医療における情報学を必修科目に取り入れたいと考えています。1年次ではほかに、文理融合授業や、保健所・福祉施設での「地域包括ケア実習」、他業種の取り組みを学ぶ「医療イノベーション学」などがあり、多様な役割や課題を知り視野を広げる機会となっています。

鳥井　他学部との連携はむず予想されていますね。

松村　はい。分野の近い薬学部とは、4年次の「医薬連携総論」で、少人数グループによる課題解決のためのディスカッションを行います。異なる視点を学び、コミュニケーション力を高めることにもつながっています。病院実習には、併設の看護専門学校の学生も参加しており、将来共に働く仲間と学びを共有する場を大切にしています。

アドミッション・ポリシー

①医学を志し、そのために必要な強い意思と高い理想を持つ人
②医学の課程を学ぶために十分な基礎学力と継続的学修姿勢を備える人
③自ら課題を発見し、解決していく意欲にあふれる人
④奉仕の精神と協調精神に富む人
⑤倫理観と責任感に富む人
⑥医療を通じて地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人

2025年11月に移転予定　最新設備を備える新病院での臨床実習も
高い意欲と情熱を持ち続け、愛され信頼される医師に

鳥井　24年度入試では一般前期の数学が唯一共通問題に変わりました。

松村　医学部独自の数学が少し難しくなりすぎていたので、この結果を検証して今後を検討していきます。入学後に必要な生物の知識が不足している人に対しては、医学の要素を含む問題を、との思いから、ネイティブスピーカーの教師も交えて作成し独自に通問題に変わりました。

鳥井　来年の11月には、理科では、化学に次ぐ2科目として生物よりも物理を選択する人が多く、入学後に必要な生物の知識を補うことが大切になります。

松村　泉北高速鉄道・泉ケ丘駅近くへの移転によって、アクセスも便利になります。新病院では地域医療への貢献をより高めるとともに、悪性腫瘍や心疾患の診療をさらに推進し、"西日本一のこれまでにない大学病院を"という意気込みのもと、最新の機器やIOTを活用した仕組みも導入予定です。これから学ぶ学生には、そこでの臨床実習も楽しみにしてもらえたらと思います。また、キャンパスには、学生が自由に集えるラーニングコモンズも設置します。

鳥井　私たちも楽しみです。最後に、受験生に向けてメッセージをお願いします。

松村　何よりも、医学を学びたい、将来医師として活躍したいという高いモチベーションを持った人に来ていただきたいと思います。二次試験の小論文と面接では、医師としての高い理想や奉仕の精神、倫理観や責任感などを評価しています。受験勉強で疲れてしまうことなく、入学をキャリアのスタートとし、情熱を持って学び続けてもらえることを願っています。

鳥井　アメリカの医師免許試験（USMLE）STEP1に合格した学生もいらっしゃいますね。海外研修プログラムも再開していきますね。

松村　必要に応じてマンツーマンの学習指導なども行い、一人一人の可能性を伸ばせるようサポートしていきます。

大阪医科薬科大学

主体的な研究を奨励し、地域医療へ貢献したい

北摂エリアで研究熱心な地域医療の従事者を育てている、歴史ある大阪医科薬科大学（高槻市大学町2ノ7）。同大学医学部長・内山和久さんを訪ね、6年間の学びや学生生活などについて聞きました。

大阪医科薬科大学医学部長
内山和久さん

生命に対する尊厳や医師の自覚を促す教育
100年続く"グローカル"マインド

鳥井　昨今、ジェンダーなどを含め多様化が進む中で、地域医療を担う医師の役割、最新の医学に取り組む研究医の役割共に重要になってきていると思います。

内山　本学は、私立の医科大学として100年近い歴史があります。卒業生は開業医の割合が多く、地域医療への貢献度は高いのではと思います。特に本学のある北摂地域では、地域一体となって学生の育成に力を入れています。一方で、研究ではグローバル化も意識しており、グローバルとローカルを併せて"グローカル"を目指しています。

鳥井　学生の特徴について教えてください。

内山　自由闊達ですね。学業に対しても、あせったりいらいらしたりといった様子が少ないようにも思います。また、研究に興味を示す学生も多く、例えば先生に声をかけられて生理学の研究をご一緒にやってみたり、どこかの研究室に入っている学生が現時点で40人くらいいます。

内山　そういうリサーチマインドを涵養（かんよう）させるために、大学でも研究を奨励しています。教師1人が受け持つ学生の数が少ないこともあるのでは、と思います。

鳥井　今のお話をふまえて、特に求める学生像、教育で最も重視されている点はどういうところでしょうか。

内山　診療というのは、命に関わる神聖な行為ですので、患者さんに対しては常に謙虚な態度で臨むことが医学教育の基本です。学生にも常にそう話しています。カリキュラムも、生命に対する尊厳を学ぶために、また、医師としての自覚を早くから持てるように、今までは2年次から実施していた解剖学を1年次から実施することにしました。

学生には大いに自由にやってもらえたら思っていますが、やるべきときには真面目に、自分で積む機会は多いですね。

鳥井　実際に医師としてもみんなすぐに打ち解けていますよ、病棟経験ができますね。入試について聞きしたがったのですが、令和6年度から実施される公募推薦入試の現科の配点が150点と数学よりも高くなっていますね。

鳥井　そうですね。これからの医学部では、生物化学の基礎がしっかりしていることが大前提になります。数学ももちろんですが、理科もしっかりとやってほしいですね。

鳥井　受験生への良いメッセージをいただきました（笑）。面接「試験」ではどのような点を見られるのでしょうか。

内山　受け答えがハキハキとした人、患者さん本位で考えられる人かどうかといったところですね。受験では目ごろからの生活のリズムを大切にし、朝9時から力を発揮できるよう、しっかり準備して臨んでいただきたいです。

鳥井　大阪医科薬科大学には、薬学部、看護学部もあります。

内山　3学部の連携は強いですね。入学後すぐに新入生の合同研修会を実施するのですが、3学部合同でチームとなり「良き医療人に」をテーマにグループワークを実施しています。そういったシーンでもさまざまな経験ができますね。入試における臨床カンファレンスも3学部で行い、6年次では1週間ほど地方の病院での実習もあります。一緒に経験を積む機会は多いですね。

鳥井　実際に医師として働くまでに、さまざまな経験ができますね。入試における臨床カンファレンスも3学部で行い、6年次では1週間ほど地方の病院での実習もあります。一緒に経験を積む機会は多いですね。

内山　そうですね。これからの医学部では、生物化学の基礎がしっかりしていることが大前提になります。数学ももちろんですが、理科もしっかりとやってほしいですね。

鳥井　受験生への良いメッセージをいただきました（笑）。面接「試験」ではどのような点を見られるのでしょうか。

内山　受け答えがハキハキとした人、患者さん本位で考えられる人かどうかといったところですね。受験では目ごろからの生活のリズムを大切にし、朝9時から力を発揮できるよう、しっかり準備して臨んでいただきたいです。

鳥井　さまざまな授業で1年次から高い持っても らいたいと考えています。来年度からは新たに"白衣の日"というカリキュラムも始めるんですよ。1年次から白衣をまとうと、気が引き締まる、という決めて実習することで、身を引き締めるとより多く接触できるような実習カリキュラムを組んでいます。

鳥井　確かに、1年次から積極的に実習を取り入れているのが特徴的と感じます。

金子　"医師になる"と"医療プロフェッショナル"を目指してお話しさせていただきました。

鳥井　さまざまな授業で1年次から高い持っても らいたいと考えています。来年度からは新たに"白衣の日"というカリキュラムも始めるんですよ。1年次から白衣をまとうと、気が引き締まる、という決めて実習することで、身を引き締めるとより多く接触できるような実習カリキュラムを組んでいます。

また、授業前に自ら学習し、授業ではその結果をもとに、医学的問題や症例について議論していくLPBL（クオリティーオブラーニング）向上の精神を養っていきます。

◇

鳥井　入試についてですが、9万式と多様な形で実施されています。

金子　狙いは、多様性につけた医、いわゆる開業医の先生方と連携し、クリニックでの実習を取り入れています